



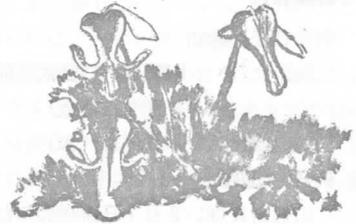
会報

DISTRICT 353
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA



こま く さ

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひ さ ご や
例会日 毎週火曜日 P M 12:30 — 1:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 (2) 5775

会 長 鈴 木 善 作
幹 事 高 橋 辰 美

Renew the Spirit of Rotary

ロータリーの精神を振るい起こせ

第 764 号 1974.7.30 (火) (晴) No.5

会報はご家族みんなで読ましよう

◆出席報告

本日の出席

会 員 数	68名
出 席 数	56名
出 席 率	82.35%

前回の出席

前 回 出 席 率	79.41%
修 正 出 席 数	65名
確 定 出 席 率	95.59%

欠 席 者

阿宗君、阿部(公)君、阿部(襄)君、五十嵐(三)君、進藤君、金井君、小池君、三井(健)君、齋藤(信)君、笹原君、津田君、藪田君

マークアップ

新穂君、中野(清)君—台中R.C
佐藤(衛)君、菅原君—温海R.C
山本(隆)君—八幡R.C
安藤君、半田君、海東君、嶺岸君、小野寺君、富樫君—鶴岡西R.C

◆ビジター

原田行雄君、足達一見君、土井秀夫君、梅井端男君—鶴岡西R.C

◆点 鐘 鈴木会長 12:30

◆ロータリーソング

(それどころ、ロータリー)

◆ビジター招介

◆会長報告

郡山R.C、社会奉仕委員会、羽黒山、児童招待慰問

◆幹事報告

例会日変更通知

温海R・C 8月5日(月)公式訪問のため

8月9日(金)

鶴岡西R・C 8月7日(水)

例会時間変更

山形北R・C 8月1日座禅会のため

AM5:30 於 慈光寺

山形R・C 7月31日(水)

PM6:都合により

於 丸久松坂屋8F

◆地区ローターアクト会長、幹事とクラブローターアクト委員長地区ローターアクト委員との会合案内

◆第360地区(飯田)大会案内

(詳細は幹事へ)

◆各クラブ活動計画報告をお願いします

◆ロータリー情報委員会

張紹淵君、山本隆男君、津田晋介君

主題

◎私は貢献する。(その2)

◎例会について

◎炉辺会合とは。

◎雑誌委員会の任務概要。

◎クラブ協議会。

◎“それは、あなたに始まる”。スライド

◎他の奉仕部門に関連をもつクラブ奉仕。

◎私は貢献する。(その2)

今年度の、ウィリアム、R・D ビンズ、国際ロータリー会長のメッセージは、すべてのロータリアンが一人残らず、“ロータリー精神を振るい起こせ”、とあり、①人作りをしましょう。②優秀な会員をふやしましょう。③新しいクラブを作りましょう④青少年と共に働きましょう。⑤あなた自

身の平和への道を進みましょう。⑥われわれのあらゆる行動にロータリーを生かしましょう。⑦親しく地域社会とかかわることにしましょう。そして、実践したことが、他人から見ても、利己的な奉仕と解釈されないように貢献しましょう。

◎例会について

例会は所定の時間に集合しますが、その開会前の親睦時間を非常に楽しみにして来会する熱心な、ロータリーアン達を忘れないように致しましてとあります。次に食事を急がずに、交歓、ビジターの接待も心よくして、会長の時間になります。ロータリー情報も毎例会に一寸加えるようにありますが、それよりも、時間厳守が最も大切であるとあります。親睦活動委員達とS・A・A 委員達が、開会前から、秩序正しく和らかな、雰囲気と能率的な例会を維持しながら、目標にむかって、楽しい、かつ有益なプログラム委員会の活動が始まります次に謝礼、謝辞を忘れなく、友情こめて、来客がくつろいだ気持ちになるように接待し、ビジターには、ホーム、クラブによるしくと伝言を頼みましょう。

◎炉辺会合とは

ロータリアンがお互いによく知り合い、且つ自分たちが真にクラブ活動の一部であるという感じを持つことが出来るために、小人数の非公式討論会で、通常会員の家で開かれる会合があります。この会合の名付けて、炉辺会合と云うのです。

炉辺会合の目的は、会員がロータリーをよりよく知り、そしてロータリーの奉仕の理想を種々の方法で、直ぐに実践し得るよう、彼らを援助することによって、“奉仕の機会として知り合い”を拡めて行くことにあります。この会合に直接参加して、そ

して他人の意見を聞くことによって、会員はロータリーの持つ一層深遠な人間味をより明瞭に認識するようになります。そして会合の一番大切なことは、全会員の意見が求められていて、本当に親睦や表現の自由を防げないようにしなくてはならないことです。

◎雑誌委員会の任務の概要

雑誌委員会の任務の概要は、①クラブ並びに会員がロータリアン誌を最も有効に利用するよう援助すること。②ロータリアン誌がプログラムや企画に適切なアイデアの源泉であることを示唆すること。③「ロータリアン誌の内容を通じて、あなたの地域社会にロータリー意識を起こさせるようにすることです。」

◎クラブ協議会

クラブの奉仕活動の成果をあげるためには、各委員長が参加して、クラブ協議会を開きますが、必要に応じて、随時何回でも行います。普通は年に少なくとも5回行うことになっています。第1回は、7月1日直後に開き、理事会で決定した年度計画を説明し、協議します。第2回は、ガバナーの公式訪問の約2週間前に備えてやり、第3回目は、ガバナー公式訪問時に開き、第4回目は地区大会の直後、クラブの運営に適切な手段を講ずるため、第5回目は、翌年1月～2月に、各委員会の活動状況を検討し、活動計画の達成が出来るように、ぜひやらなければならないのだそうです。

◎“それはあなたに始まる”

“それはあなたに始まる”のスライドセットは会員増強の指針が書かれてあります。クラブの増員の意味は、我々は奉仕しますそして成果を上げ、クラブは量と質の向上

と共に拡大をしつづけています。成果を上げるには、人手が要ります。

親睦の範囲を拡げるのにもより多くの会員が要するからです。我々のクラブの力の真の根源は、会員が揃って活動に参加することにあります。新しい会員をどんどん獲得すればする程、クラブは着実に、自然に成長し、会員の質を高く維持されますので、クラブ増員は他人事ではない。自分の仕事でもあるように、会員一人一人が自覚してすることです。その拡大の方法と如何にして、新会員の才能を最大に生かし、ロータリーの綱領を行動に移すことを示唆しているのがこのスライドセットです。

◎他の奉仕部門に関連をもつクラブ奉仕

クラブ奉仕活動は云うまでもなく、各委員会は相関連して、活動に参加することが最も大切なことであります。特にクラブ奉仕に於いての活動を一層密接にしなければならぬ委員会は、今年度も、クラブ奉仕委員会担当理事の活動計画に運営と活動の方針の一番に、書いてあるように、①会場監督プログラム。出席。親睦活動の各委員会。②職業分類、会員増強、会員選考の各委員会と③広報。情報。会報。雑誌の各委員会が歩調を合せて活動するよう望まれています。

◆各地のロータリークラブ紹介シリーズ

(会報委員会編集)

(3) 第354地区秋田ロータリークラブ

秋田ロータリークラブ事務局

秋田市中通五丁目二番一号

秋田ニューグランドホテル内

私達のロータリークラブについて、御紹介致します。私達のクラブは1952年12月23

日認承されました。発足当時の会員数は26名、初代会長は辻兵太郎、現会長は竹谷小太郎、現幹事は渡辺靖彦です。

今期予算額は9,800,000円、過去の特記すべき活動として、地区大会のホストを2回動めました。今期活動の主目標は“親睦第1に楽しく和やかに”と決めました。会報発行は120部、会報編集上の悩みはありません。会員外に対するP・Rは特に行って居りません。名誉会員制もあり現在2名居ります。インターアクトクラブは有りません。現在のところローターアクトクラブのみとなって居ります。

次に私達の市の概略を御紹介致します。

1. 秋田市のなりたち

その昔、秋田市は「あきた」または「あいた」と呼ばれ、今から約1230年前の天平5年頃、日本北辺の守りとして高清水の丘に秋田城が築かれ、その後今の土崎に湊城を築き、慶長7年(1602年)常陸水戸の城主佐竹義宣が国替えされ、翌年新しい城を今の千秋公園に築き藩名も「久保田」と改めました。

その後明治22年4月(1890年)秋田市が誕生し、昭和29・30年に周辺13ヶ村を合併し、現在(1973)人口24万5千人を越え、毎年3,000人を越す新しい市民の増加と郊外部の市街化が進んでおり、将来の都市像として、私達の住むまちを“誰でも住んでみたくなる”明るく豊かな生活環境のまちづくりをすすめています。

2. 森と水と

秀麗な線をもって秋田市の東を限りながら、そびえている。秋もふけ、その頂に初雪が見えると冬將軍の到来だと知り、雪が消えると春の訪れと喜ぶのが、太平山をとりまく土地の常になって居ます。

神秘の厳しさをもつ信仰と伝説の山と

して知られ、湊谷と秋田杉の美林を組合せた雄大な自然景観をほしいままにすることが出来ます。国が明治100年記念事業の一環として、務沢流域一帯を「国民の森」に指定したもので、森林博物館や樹木見本園が設置され、山麓部には近代的設備を誇る太平山スキー場が開設され冬期スポーツの場として多くの市民に利用されています。

また秋田を代表する名物の一つとして全国的に知られているものに「秋田ふき」があります。最盛期の5、6月には、茎の長さが1.5~1.8メートル、葉巾が1.1メートルにも達する大落となって、砂糖漬や、藍羊かん等に加工され、土産品として販売されています。

3. 秋田と祭り

—竿 灯—

東北三大夏まつりの一つで、当市独特の七夕祭の行事で、以前は「ねぶり流し」と称し、旧藩時代から続けられて居ます約11メートルの長い竹竿に46個の提灯を9段にわけて吊したもの(重量約50kg)を太鼓や笛にあわせ、腰、肩、額、掌などで支える妙技と150本を起える竿灯に“火”を灯す光景は、あたかもゆれる稲穂の様で、豪華華麗の一語につきます。五穀豊穰を祈願することから生まれた祭です。

—梵 天—

毎年1月17日に寒風について行なわれる行事で、神の幣束をかたどった梵天を近郷近在の若者達30人位が1組となり、ホラ貝を吹きならし、梵天を振りかざして道行唄を唄いながら三吉神社境内に88本が先陣を競って奉納されます。

—港まつり—

秋西市土崎港の神明社の例祭で、7月20

日、21日に各町から奉納する曳山は、二見ヶ浦の「めおと岩」を形取り、これに武者人形を飾り、若者達がそろいの浴衣にはち巻、白タビ姿で町を練り歩くもので、囃子のひびき、カケ声、車の音が浴け合った野性物なふんいきは、他に見ることの出来ない壮観の一語につきる。

4. 秋田とその史跡

—久保田城跡—

秋田藩代々の居城、築城は慶長8年、天守閣も石垣もない城として有名。

明治29年以来公園として開放。桜、つつじの名所です。

—天 寺—

旧藩主佐竹氏代々の菩提寺、寺宝数多く県重文の指定をうけています。

—秋田城跡—

今より1230年前エゾ鎮圧のため高清水の丘に、出羽柵（秋田城）が築かれ、日本最北の城跡と云われて居ます。

—八橋三重の塔—

日吉神社は佐竹藩時代の以前から、秋田市外町（町人まち）の鎮守で、その内楯は精巧を極め“秋田の月光廟”とまで云われています。（以下次号）

❖マムシにかまれたときの処置

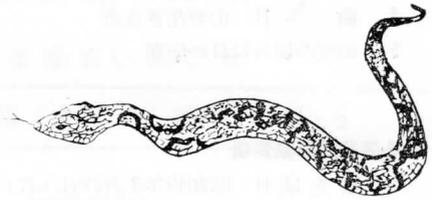
1. マムシの多い地域には、絶対に1人で立ち入らないこと。
2. 同地域に踏み入る場合には、応急処置薬品として「過マンガン酸カリ」溶液を入れたクーラーと、鋭利な双物（カミソリの双等）を必ず携行すること。
3. 万一、マムシにかまれたときは、いち早く同行者に告げるとともに同行者は、次の処置をとる。
 - (1) かまれた傷より心臓に近い部分を、布かベルトで強くしばる。

(2) 横に寝かせ、頭を低くし寒くないように服などで全身を保温し、ショックを防ぐ。

(3) かまれた傷を鋭利な双物で、かまれた傷の上を十字に長さ5ミリ程度に切り、口で強く吸っては吐き出すことを数回繰り返し、血液とともにへびの毒を吸出する。（この場合、口の内に傷のある人が吸出することはキケンだからやってはいけない。

(4) かまれた傷を、過マンガン酸カリで洗い、湿布する。

(5) コーヒー、茶などを飲ませる。

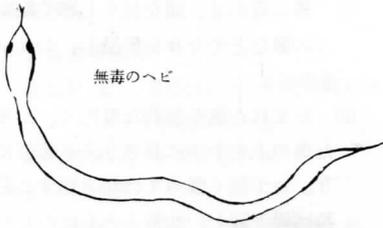


かんだあとのキズ跡



(特長)

- 頭が三角
- 胴が太い



◆花笠まつり行事ご案内

8月10日(土) 11日(日)

1. 主催 山形花笠まつり庄内会場
実行委員会
2. 日時 8月10日(前夜祭) 2日間
11日(本祭)
3. 場所 鶴岡市東通り・昭和通り
4. 曲目 山形花笠音頭
5. 雨天の場合12日に延期

◆ミス花笠募集要項

1. 審査期日 昭和49年7月28日(日)
午後1時～5時まで
2. 審査会場 鶴岡産業会館4階
3. ミス花笠パレード

8月10日・11日・7時より
東通り・昭和通り

4. 申込資格 庄内二市三郡に居住する
未婚の女性(但し満15才
以上とし、中学、高校に
在学するものは除く)
5. 服装 健康的な服装
6. 賞 ミス花笠1名
準ミス花笠1名
金一封・賞品
北海道柿まつり
柿娘として参加(10月)
7. 申込方法 7月25日(木)まで住所
・氏名(ふりがな)生年
月日・年令・趣味・特技
を明記の上、葉書又は封
書・電話にて申込みこと
8. 推せん者賞 推せん者には記念品を贈
ります。

お問合せ・申し込みは(花笠事務局)
鶴岡市馬場町9-25 (〒997)
鶴岡市役所商工観光課内
TEL 22 - 5111 (内線324)

スピーチ等には、要旨で結構ですので、
原稿を会報委員会にお渡し下さいます様
重ねてお願い致します。御協力下さい。

